

令和2年度 横浜市立四季の森小学校 学校だより

このまちに生き、共に輝く子

ねばり強く取り組む子 思いやりのある子 命を大切にする子 地域に愛着をもつ子 社会への視野を広げる子



# 四季の森

3月号

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/shikinomori/>

## コロナ禍での1年間を振り返って

校長 笹原 洋子

校庭の花壇に3年生が植えた菜の花が満開になり、チューリップも芽を出しました。卒業、入学の季節が近づいてきているのを感じます。早いもので、今年度も残すところあと1ヶ月となりました。幸い感染者数は減少し、さらにワクチン接種が開始されましたが、まだまだ予断を許さない状況です。このコロナ禍において、1年間を通して本校の子ども達は自分たちができる最大限の努力を続けました。これは、保護者の皆様のお力添えが大きかったと感じています。令和2年度、学校運営に多大なご理解、ご協力をいただきましたこと、改めてお礼申し上げます。

この1年間、授業日数や授業時間を短くした中でも、子ども達に育てるべき資質・能力の育成を目指して授業の内容を工夫して指導してきました。また、密をさけたり、飛沫の飛散を防止したりするために、子ども達には制約が多い生活だったと思いますが、できる限り子ども達が子ども達らしく生活できる学校にしたいと考え、学校運営を行ってきました。

さて、この1年間で一人ひとりの子ども達はいろいろなことを経験し成長しました。学習に関することや人間関係に関する事などでは、きっとよいことばかりではなく、うまくいかないことや、嫌な思い、辛い思いも経験したことと思います。困ったことを先生や保護者の皆様に相談しながら乗り越えた子もいれば、自分で解決した子や気持ちを切り替えて気にしないようにすることで乗り越えた子もいたかもしれません。いずれにしても、子ども達は着実に成長しました。

子ども達が辛い思いをしているときには、多くの場合見守っている保護者の方は、どのように対応しようか悩まれることと思います。子ども自身が解決できるのか、保護者が動いた方がよいのかといろいろな悩み、少しでも子どもが傷つかないようにしたいと考えることでしょう。きっと、このような場合の対応に正解はなく、その時々で考えるしかないと思います。しいて言うなら、見守っている大人は少し離れて、広い視野に立って子どもを見守れるとよいのではないかと思います。子ども達を取り巻く状況は日々変化しているので、これから良い状況にするためにはどうしたらよいかを考えましょう。担任等にもご相談ください。この時期多くの子ども達は、「進級したらがんばろう。」と考えていると思います。一緒に応援していきましょう。

今まであまり紹介することができませんでしたが、学校では心理の専門家（カウンセラー）や福祉の専門家（スクールソーシャルワーカー）も子ども達の成長をサポートしてくれています。子育てのことなど、保護者の皆様の相談にのったり、アドバイスをしたりします。今回は、二人の専門家にメッセージを書いていたいただきました。ぜひ、ご覧ください。

